

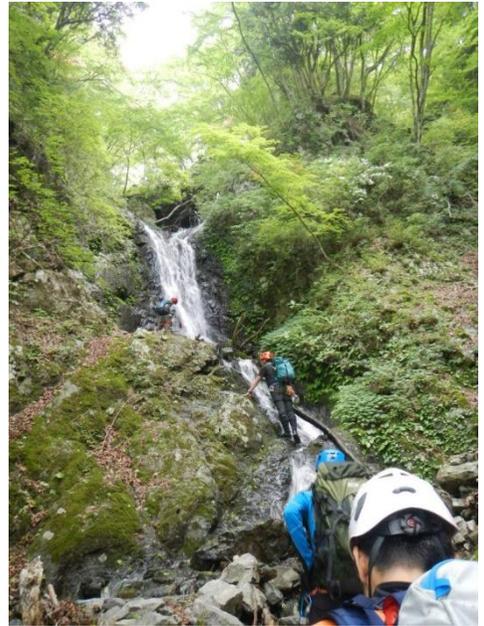
会山行 No

## 丹沢：源次郎沢（沢のぼり）

- ◆日程 2019年6月1日（土）  
 ◆メンバー L：須田、岡村、小山田、前田、大山、今、大塚、  
 西山（キャンプのみ参加）  
 ◆天候 曇のち晴

暦の上では夏に変わった初日の沢登り山行。しかも先週の氷川キャンプに続いての焚火付きのキャンプをして翌日には岩トレ&沢登り山行にも参加できる豪華プラン。沢登りデビューの私にとっては贅沢すぎる企画だ。今さん大山さんと共に車で出発、海老名SAで須田Lらと合流し、キャンプ場へ。時間が早いこともあり、広々とした河原は場所を取り放題だ。目星をつけた場所に車を置き、テントは張らずに早速準備をして沢へ。

ゴム底タイプの沢靴の感触を確かめながら進む。沢に足を入れるとジワリと水が靴下の中まで侵入してくるが冷たくない。水流で濡れた岩も以外に滑らずに登れる。F1、F2と順次進んだが、どんな滝や壁をどんな登り方で攻略したか覚えていない。とにかく、取り付ける手掛り足掛りに反射的に手足を載せ、がむしゃらによじ登った。水中でなければ掴めない手掛かりにも手を掛けた。しかし水流の中で手は次第に痺れるような感覚に。お陰でF5 辺りだったか、全身ずぶ濡れとなり、体が震え出した。雨具を着込んで食べ物を喉に流し込み、体温低下を防いだ。私以外は皆経験者だ。無駄に濡れないよう手足の置き場をよく考えて洗練された登りでクリアしていく。最後は須田Lによるロープで全員無事登り切った。スリリングだが終わってみれば思いのほか平常心で登れた。岩トレや沢靴のゴム底のお陰もあろうが、何より皆さんが良いお手本を見せながら引っ張ってくれたお陰で安心して楽しめたのだと思う。



て楽しめたのだと思う。

キャンプ場に戻ると、目星を付けた木陰の場所は他のパーティーが占めていた。先週の氷川キャンプに続き、場所取りを先にしないことがこの結果に。しかし、天気は回復したし、西山さんも怪我を思わせないしっかりと足取りで無事に合流できた。気を取り直して広々としたエリアにテントと焚火の竈を構えた。皆が手分けをしてあつという間に沢山の薪が集まり、いよいよ点火。お待ちかねの乾杯のあと、無限キャベツ、須田さんお手製のパン、大山さんのマグロカマ焼、前田さんの鹿肉焼肉、大塚の焼そば豆、小山田さんの玉葱ホイル焼き、岡村さんのコーン卵スープ、今さんの具沢山タコス、岡村さん小山田さんコラボによるメインの山岳パエリア（魚介がないので）などなど、持ち寄りメニューで焚火キャンプの醍醐味を夜10時まで伸び伸びと楽しめる最高の一日だった。しかも帰宅後に、翌日のモミソ沢下山中に蛭に噛まれた痕跡に気付くというサプライズまで付いた。

（記：大塚）

CT：戸沢キャンプ場 8:30/9:00 - 源次郎沢 9:10 - 花立山荘 13:40/13:55 - 天神  
 尾根分岐 14:20 - 戸沢キャンプ場（泊） 15:00